

北海道 かわばたの風

4月号

発行所：社会福祉法人愛篤福祉会

発行日：令和3年5月10日

住所：北海道夕張郡由仁町川端1002

電話：0123-85-2246

「危機感を持つことよ」

管理者 太田 さとみ

先日、突然午前3時に自宅のチャムが鳴り玄関先へ出てみると、若い女性が二人立っていました。「道を間違えて戻ろうとしたら、隣の畑に後輪が落ちてしまいました、何か木の板などありませんか」とのこと。一緒に現場に行ってみると、とても私たちだけで動かすことは難しく、朝になつて隣の農家さんに機械で上げてもらったほうが良いと思ひ、彼女たちを自宅に上げ話を聞くと、「釧路から札幌の友達に会いに行く」とのこと。コロナ禍で札幌は蔓延防止対策がとられている最中、片道5時間かけ友人に会いに行く。もし友人が感染者だつたらとの危機感もなく、北海道知事の不要不急な外出は控えて下さいの訴えも届かず、彼女達の行動が取り返しのつかない事態にならないことを願わざるをえませんでした。その後無事車は上がり、彼女達は札幌へ向かいましたが、もっと危機感を持つとう。これ以上感染者を増やさない為に。



「コロナ禍の中で」

サービスマネジメント責任者 加藤 安子

今年も元氣村トイレの清掃作業が始まりました。このトイレは、峠に向かう国道沿いであり、不特定多数の方が利用しています。

新型コロナウイルスの感染が広がる中、感染予防として、手袋、マスクのほかに防護服やフェイスシールドも着用して取り組んでいます。

自分たちでは万全の準備と工程でトイレ清掃を行っているつもりですが、一つのミス、気の緩みから感染してしまうことがあることを、利用者さんと指導する職員に伝え日々送り出しています。まだまだ、収束が見えず、緊張の中での作業が続きます。

北海道も過ごしやすい季節になり、体力づくりや気分転換を兼ね、天気の良い日は屋外でウォーキングなども取り入れています。「元氣が一番」を合言葉に頑張っています。

光回線のケーブルを引くために事業所東側にある「いちい(おんこ)」の木が伐採されました。「いちい(おんこ)」は、平安時代ですと^{ルキ}笏の原料だそうです。秋には真っ赤な小さな実がなり、食べると甘酸っぱい味がします。由仁町の郊外にも、遅ればせながら光回線が敷かれることになり、今後リモートワーク、インターネットを利用するの買い物、オンライン診療などに利用されることが見込まれます。

今や、電気・ガス・水道と並んで生活に欠かせない通信(光回線)が整うこととなります。



5月の予定

- 1日 工賃支給
- 17日 避難訓練
- 25日 工賃会議

コロナ禍に伴い、外出支援などの一部の活動を自粛しています。

風だより

ゴールデンウィークが始まり、事業所前の蝦夷桜は満開を迎えました。北海道の花見は、以前は大勢の人が公園でジンギスカン鍋を囲み焼肉をしていたので、モクモクとした煙の中、桜の花など霞んで見えませんでした。いつもなら、春到来を待ちわび喜びが爆発したような花見となりますが、今年も昨年同期コロナ禍のため公園では火気厳禁。立入り禁止区域が多く、寂しい花見となっています。

自分の命を守るため、しっかりと自粛しましょう。

4月の風景

4月になり雪が解け、白い風景から少しずついろいろな色加わるようになりました。



お仕事、がんばっています！！



今年も元気村トイレの掃除作業をすることになりました！

